

Q:少し歩き始めて靴を買うタイミング(10ヶ月)

A:店頭で並んでいるベビーシューズを見ると可愛くてつい買ってしまいたくなりますよね。

歩み始めるのが早い子はもう10ヶ月頃になると歩き始めます。室内で歩いてもお外に出るとしゃがみ込んで歩くのを嫌がり抱っこ抱っこになってしまうなど、歩いたからと慌てて購入することはないと思います。お高いですし。室内では5本指を上手く使って歩く感覚を身に付けさせるよう裸足で歩かせましょう。裸足が一番良いです。

ファーストシューズ(初めて履く靴)はお店の店員さんに伺うのが良いと思いますが、軽くて靴底が柔らかいのはもちろん、靴全体が柔らかい素材のものが良いです。大体そのような商品になっていると思いますが。サイズだけでなく足の甲が高い、幅が広いなど足の形も違うので親が手に取って子どもに履かせてみて選んで欲しいですね。

Q:おっぱいの止め時。寝かしつけに楽し可愛いのでそろそろやめようかと思うけど。(1歳2ヶ月)

A:この前、1歳1ヶ月にそろそろなる子どもさんのママから伺ったお話ですが、パパがお盆休みの時を見計らって卒乳されたようです。ママとかわってパパと一緒に寝たりしながら、2日ほど夜は泣かれて途中で挫折しそうになられたそうですがパパに励まされ頑張って卒乳成功でした。もう忘れたらと思っていたら一緒にお風呂に入った時におっぱいに反応したようで乳首に絆創膏を貼って入ろうかなと笑って報告してくださいました。でも食事をよく食べるようになったと良い反応があり良かったと思います。

どうしても夜中に泣かれると可哀想でつい授乳してしまい、また元に戻ってしまう。卒乳の時期は自由ですが月齢が高くなればなるほど卒乳が難しくなります。1歳を過ぎてそろそろお考えになれるのなら応援したいなと思います。

卒乳時は、ママも子供さんも体調が良い時を選んで行ないましょう。おっぱいの代わりに、さ湯やお茶を用意して与えることでだんだん起きる回数も減っていくと思います。卒乳は赤ちゃん自身が自然と離れるという意味合いで、ママ自身の決意で離すのが断乳と言われますが、あえて卒乳という表現をしたいと思います。

Q:手づかみ食べをしない(11ヶ月)

A:どうしても「手づかみ食べ」をさせる必要はありませんが、手指を使って食べることで脳や感覚が刺激され活性化されると言われています。おもちゃでも何でも口に入れてこれは何だろう?と確かめるのが赤ちゃんですが、食べ物に触って掴んでお口に入れてという作業はなかなか難しいものですよ。

手づかみだと手や口、服、周囲など汚れて後始末が大変です。離乳食が始まる頃は口、手、服など汚れたらすぐ拭いていませんでしたか。清潔に食事をしていた環境から手づかみして食べなさいというのも無理な話です。スティック野菜など掴みやすい食材からスタートして無理なく手づかみ食べをさせてあげましょう。

なかには、手が汚れるのをイヤがるお子さんもあるので、手づかみ食べをしないことにこだわらず、楽しく食事をするように心がけましょう。

Q:めっちゃ風邪を引く（11ヶ月）

A:幼い頃は、こども自身に免疫力がまだ弱く感染しやすいので、風邪や他の病気も拾いやすいですね。本人や兄弟が幼稚園に通っていると様々な感染症にかかりやすくなります。病院へ行く機会が多いとまた感染の機会も増えます。でも一定の期間を過ぎて免疫ができれば改善されてきます。かかりつけのお医者さんを決めて、子どもの状態を普段から見てもらいご心配なことは相談しましょう。